

国宝松江城天守防火対策事業(天守東側の樹木伐採)について

(松江城・史料調査課) 2022.10.1

(1)事業の目的

- ・国宝天守を守り、将来に継承して行くため
- ・石垣支障木や園路沿い危険木を減らすため

○防火対策基本計画策定を通じて明らかとなった課題

- ・立地上、天守近くに消防車両が寄り付けない
- ・消火栓(市道)から本丸までの距離があり、送水開始までに時間を要する

○解決策(事業内容)

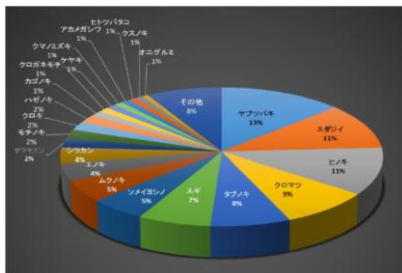
- ・火災の早期発見および確実な初期消火⇒最新設備への更新
- ・火災の原因となる要素を減らす
 - ⇒延焼防止のための樹木伐採(石垣支障木等を含む)※
 - ※建物の周囲に山林が迫る場合、20m幅の火除地を設けることが有効
(『文化財保存・管理ハンドブック 建造物編』(文化庁監修)平成25年)

(2)事業スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施設計	→		
設計監理		→	→
地盤調査	→		
発掘調査	→		
電気配線調査	→		
樹木伐採	→		
防災施設整備工事		→	→

(3)城山公園の樹木の現状

- 樹木調査(平成12年度)・総数3,206本(84種類)
- 樹齢調査(平成26年度)・樹齢約150年以上の古木223本(7%)
 - ※樹木の大部分は明治以降のもの
- 危険木調査(平成26年度)・園路沿い危険木 131本(4%)
 - ・石垣支障木 485本(15%)



- ・ヤブツバキ422本(13%)
- ・スダジイ 350本(11%)
- ・ヒノキ350本(11%)
- ・クロマツ274本(9%)
- ・タブ241本(8%)
- ・スギ219本(7%)
- ・サクラ170本(5%)など

(4)伐採対象の樹木

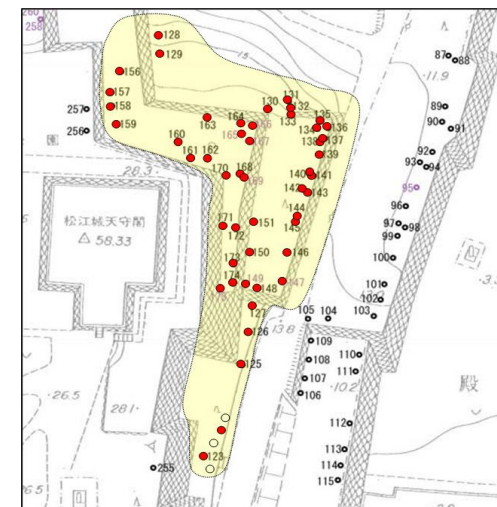
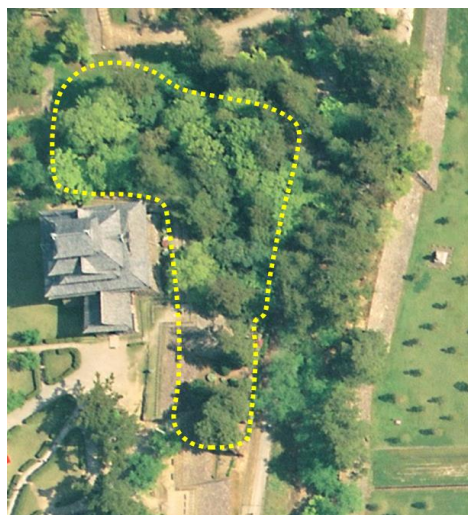


○令和4年度伐採計画

- ・伐採対象区域約3,000㎡
 - ※公園面積(約157,000㎡)の1.8%
- ・天守東側に近接する樹木49本
 - ※城山樹木総数(3,206本)の1.5%

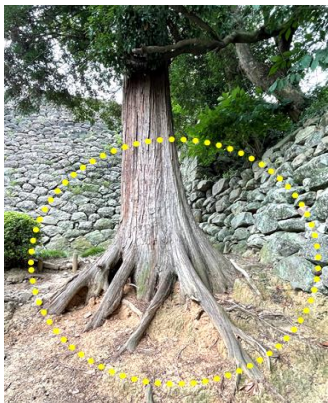
○49本の内訳

- ・スギ 9本
- ・ヒノキ 1本
- ・タブノキ 17本
- ・エノキ 2本
- ・クロガネモチ 2本
- ・ヤマモミジ 1本
- ・ムクノキ 6本
- ・センダン 2本
- ・サクラ 1本
- ・ヤブツバキ 5本
- ・クロマツ 1本
- ・モチノキ 1本

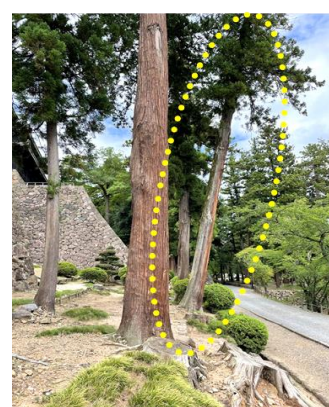


(5) 対象樹木の状況

○今回の伐採対象木は「石垣支障木」または「園路沿い危険木」に指定されている(※「史跡松江城保存活用計画」平成29年)



(石垣支障木)



(園路沿い危険木)

○樹齢約150年以上の樹木が4本

- ・いずれも「石垣支障木」に該当する
- ・倒木の際に天守に直接被害を与える可能性がある
⇒伐採を検討



スギ



マツ



タブ ★枯死



スギ

(6) 事業の効果

- 天守が延焼から守られる
- 樹木根の押圧から石垣が守られる
- 城郭らしい景観がよみがえる

【問合せ先】
松江市文化スポーツ部松江城・史料調査課
[Tel]0852-55-5959 [Fax]0852-55-5495
[e-mail]matsuejou@city.matsue.lg.jp

(7) 景観変化のイメージ



南東方向から(現状)



伐採後イメージ



北東方向から(現状)



伐採後イメージ

(8) 伐採後の新たな魅力創出

○新しい松江城の景観スポットの創出と回遊性の向上

- ・北側に新たな見学スポット「城郭らしい景観」を創出する。
⇒北側へも見学者を誘導し、北惣門橋～松江歴史館～塩見縄手方面への回遊を促すことが可能となる。

(9) 今後の進め方

○事業計画の周知

- ・市民向け現地説明会の開催
- ・市報やHP上での情報発信

○伐採木の有効利用の検討

- ・有効活用に関するアイデア募集 など

